

REX50 ver5.03 追加コマンド説明書

テキストモード

AUTOMOUNT(自動マウントモードの設定)

動作

オートマウント機能の有効/無効を設定します。

コマンド

AUTOMOUNT`[20H]`設定値`[0DH]`

設定値	オートマウントの有効/無効を指定します。
-----	----------------------

レスポンス

OK`[0DH]`

が返ってきます。

備考

設定値に 1 を指定すると、オートマウントが有効になります。
オートマウントが有効になると、メディアの挿入時に自動で MOUNT コマンドを実行します。

設定値に 0 を指定すると、オートマウントは無効になります。

電源投入直後は、オートマウント無効状態になります。

PORTOUT(汎用ポート出力設定)

動作

基板上の P10, P9 ポートの出力信号を制御します。

コマンド

PORTOUT $\overline{20H}$ ポート番号 $\overline{20H}$ 出力値 $\overline{0DH}$

ポート番号	設定を行うポートの番号を指定します。
出力値	ポートに出力する値を指定します。 0 = Low レベル 1 = High レベル 2 = Hi-Z 3 = ステータスの bit0 4 = ステータスの bit1

レスポンス

OK $\overline{0DH}$

が返ってきます。

備考

出力値に 0 または 1 を指定すると、High または Low レベルがポートに出力されます。
出力値に 2 を指定すると、ポートはハイインピーダンスになり、入力ポートとして使用できます。
出力値に 3 を指定すると、STATUS コマンドで得られる値の bit0 の値がポートへ出力されます。
出力値に 4 を指定すると、STATUS コマンドで得られる値の bit1 の値がポートへ出力されます。
出力値に 3 または 4 を指定した場合は、最新の STATUS 値が常にポートへ出力されます。

電源投入後、全ポートはハイインピーダンスになります。

P10 の 9 番ピンから High レベルを出力したい場合は、

PORTOUT $\overline{20H}$ $\overline{9}$ $\overline{20H}$ $\overline{1}$ $\overline{0DH}$

とコマンドを送ります。

PORTIN(汎用ポートの状態を得る)

動作

基板上の P10, P9 ポートの信号を読み取ります。

コマンド

PORTIN[20H]ポート番号[0DH]

ポート番号	取得するポート番号を指定します。
-------	------------------

レスポンス

取得値[0DH]

が返ってきます。
指定されたポートが High レベルの場合は 1 が、Low レベルの時は 0 が値になります。

備考

PORTOUT コマンドで Hi-Z 以外を指定しているポートも読み込みは可能です。

バイナリモード

99H AUTOMOUNT(自動マウントモードの設定)

動作

オートマウント機能の有効/無効を設定します。

コマンド

99H 設定値 SUM

設定値	オートマウントの有効/無効を指定します。
-----	----------------------

データ

データはありません。

備考

設定値に 1 を指定すると、オートマウントが有効になります。
オートマウントが有効になると、メディアの挿入時に自動で MOUNT コマンドを実行します。

設定値に 0 を指定すると、オートマウントは無効になります。

電源投入直後は、オートマウント無効状態になります。

9AH PORTOUT(汎用ポート出力設定)

動作

基板上の P10, P9 ポートの出力信号を制御します。

コマンド

`9AH` `ポート番号` `出力値` `SUM`

ポート番号	設定を行うポートの番号を指定します。
出力値	ポートに出力する値を指定します。 0 = Low レベル 1 = High レベル 2 = Hi-Z 3 = ステータスの bit0 4 = ステータスの bit1

データ

データはありません。

備考

出力値に 0 または 1 を指定すると、High または Low レベルがポートに出力されます。
出力値に 2 を指定すると、ポートはハイインピーダンスになり、入力ポートとして使用できます。
出力値に 3 を指定すると、STATUS コマンドで得られる値の bit0 の値がポートへ出力されます。
出力値に 4 を指定すると、STATUS コマンドで得られる値の bit1 の値がポートへ出力されます。
出力値に 3 または 4 を指定した場合は、最新の STATUS 値が常にポートへ出力されます。

電源投入後、全ポートはハイインピーダンスになります。

9BH PORTIN(汎用ポートの状態を得る)

動作

基板上の P10, P9 ポートの信号を読み取ります。

コマンド

`9BH` `ポート番号` `SUM`

ポート番号	取得するポート番号を指定します。
-------	------------------

データ

`取得値` `SUM`

が返ってきます。
指定されたポートが High レベルの場合は 1 が、Low レベルの時は 0 が値になります。

備考

PORTOUT コマンドで Hi-Z 以外を指定しているポートも読み込みは可能です。

汎用ポートについて

基板上の汎用ポートの位置と、コマンドで指定する番号の対応は次のようになります。

ポート番号	基板ポート位置	備考
0	P10-1 番ピン	
1	P10-2 番ピン	
2	P10-3 番ピン	
3	P10-4 番ピン	
4	P10-5 番ピン	
5	P10-6 番ピン	
6	P10-7 番ピン	
7	P10-8 番ピン	
8	P10-9 番ピン	
9	P10-10 番ピン	
10	P10-11 番ピン	
11	P10-12 番ピン	
12	P10-13 番ピン	
13	P10-14 番ピン	
14	P10-15 番ピン	
15	P10-16 番ピン	
16	P9-5 番ピン	プルダウンされています
17	P9-6 番ピン	N チャンネルオープンドレイン出力
18	P9-7 番ピン	N チャンネルオープンドレイン出力
19	P9-8 番ピン	
20	P9-9 番ピン	
21	P9-10 番ピン	
22	P9-11 番ピン	
23	P9-12 番ピン	
24	P9-13 番ピン	
25	P9-14 番ピン	

汎用ポートには 0[V]～VCC[V]の電圧を入力できます。

範囲外の電圧が加えられると、コントローラが破壊されるおそれがあります。

汎用ポートに電流を流しすぎた場合、コントローラが破壊されるおそれがあります。

1 ポート辺り 5mA 以上の電流を流さないようにしてください。

表記していない空きポートには、何も接続しないでください。

誤動作やコントローラの破壊の原因になります。

P9-6, P9-7 ピンは、オープンドレイン出力になりますので、外部にプルアップ抵抗等が必要です。